

【新規開講】

『食農みらい塾』(4 月)新規開講記念して 2/28(土) 3/1(日) 3/28(土) プレイベント実施 ～野菜の食べ比べ・「おいしい」の伝え方ワークショップ～ 【共催:(有)類農園×(株)類設計室 教育事業部 自然学舎】

株式会社類設計室（大阪本社：大阪市淀川区 代表取締役社長：阿部紘）農園事業部「類農園」と教育事業部「自然学舎」が協働し4月11日に「食農みらい塾」を新しく開講します。その特別体験会として **2026 年 2 月 28 日（土）、3 月 1 日（日）、3 月 28 日（土）** と 3 回にわたり、小学 4 年生～高校 3 年生を対象にイベントを開催します。「野菜の食べ比べ」体験や、ワークショップを通して「相手に伝わる『おいしい』の伝え方」などを直接学ぶことができるイベントとなっています。



【概要】

- 日程：**2月28日（土）／3月1日（日）／3月28日（土）
場所：Senri LOOP 2 階（大阪府豊中市新千里北町 3 丁目-1-4）
対象：小 4～高 3
時間：10:00～12:30（9:30～受付開始）
内容：①野菜を食べ比べ「味の違い」を感じてみよう！
②プロの戦略！野菜が届くまでの仕組みを学ぼう
③おいしいを届けるには？「伝える」ワークショップ
定員：40 名
料金：3000 円（自然学舎 月会員の方は 2500 円）

▼申し込みはこちらから



『食農みらい塾』を開設した3つの背景

① 深刻な農家の高齢化と担い手不足

農林水産省が発表する「農林業センサス」の資料によると、基幹的農業従事者は平成 27 年では 175 万人ですが、令和 7 年には 102 万人まで減少すると想定されています。また、平均年齢についても 67.6 歳となっています。（※ 1）

これらの社会状況から、農園事業部、教育事業部をもつ弊社としては、人々の健康を実現する「食」について学び、未来の食を支える人材を育むことが使命であると考えています。

※ 1 農林水産省「農林業センサス」（農林水産省統計部）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/sihyo/data/08.html>

② 自らがつくる側となることで、豊かな感性を育む

日本では現在、2030 年に IT 人材が最大 79 万人不足するという試算があり、デジタル人材の育成が喫緊の課題となっている一方、子どもたちの成長過程では五感を使った『実体験』は必要不可欠と考えています。そこで当塾では、実際に野菜の味の違いについて食べ比べを通して学んだり、土を見て、触って、実際に野菜を植え、店頭に並ぶまでの体験など、自らがつくる側となることで、豊かな感性を育てていきます。

また、味覚からの刺激が脳の発達過程で重要とされています。からだの動きを司る小脳は 8 歳ごろ、動物的な情動や思考の中枢を担う大脳は 12 歳ごろに完成すると言われています。この期間にさまざまな味を体験し、刺激を与えることが、子どもたちの脳の発達を促進させることにもつながります。（※ 2）

※ 2 palsystem「子育て 123」

<https://x.gd/7iMfy>

③ 1 次産業のみならず、6 次産業の活性化を目指す「新しい学びの場」を提案します

当社には「類塾プラス」という教育事業部があり、勉強中心の学習塾が求められる時代からシフトしようと新たな事業を提案していました。自社所有林を持っていること、「仕事」体験を本格的に取り入れている「フリースクール」事業、そして当社の「設計」事業、それぞれの強みが生かせる事業として、こども建築塾などの立ち上げも行い、知識を詰め込むだけでなく教育を提供してきました。

この食農みらい塾では、生産・加工・流通・販売・調理・食事など、すべて 1 つのサイクルがあると捉えています。ここでは、畑から食卓に至る過程の中でリアルな体験を通して、1 次産業のみならず、6 次産業の活性化を目指す「新しい学びの場」を提案します。

農園事業部『類農園』について

1999 年、経済危機をきっかけに「農の再生」を目指して、農園事業をスタートしました。2014 年には、都市と農村を繋ぐ直売所を開設し、現在は約 600 名の協働生産者の商品を販売しています。栽培から販売まで一貫して担う類農園の特長を活かし、2018 年からは、思いを共有できる協働者様との異業種連携を強化し、社会課題に取り組んでいます。



▼「類農園こどもマルシェ」
の記事はこちら



2025 年 12 月 4 日に「類農園直売所 千里中央店」が新しい店舗としてオープンしました。同月 13 日には「類農園こどもマルシェ」を実施し、有志で集まった類塾プラスの生徒たちが野菜陳列から販売まで、類農園の販売員に挑戦しました。

教育事業部『自然学舎』について

『自然学舎』は、類設計室がこれまで約 40 年提供してきた自然体験事業の蓄積を土台に、2023 年に立ち上げました。所有する大阪彩都の山林や圃場、奈良・三重の農園事業部や技術を活用するなど、農園と教育の共創による教育事業部です。心身ともに健全な人を育て、それと同時に生命を育む里山と山林の保全も行っています。



キッズデザイン協議会が表彰した子どもたちの安全・安心に貢献するデザインです。

「自然学舎・しごと学舎」の取り組みが、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催するキッズデザイン賞の「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」において『第 17 回キッズデザイン賞』を受賞しました。

会社概要

活力ある社会をめざして、株式会社類設計室（読み：るいせつけいしつ）は、21 世紀を牽引するお客様の戦略パートナーとして活力あふれる空間を設計しています。さらに「社会の活力を生み出す」という視点から、新しい教育・農業にも取り組んでいます。

<会社概要>

ミッション : 活力ある社会を設計する
会社名 : 株式会社 類設計室
設立 : 1972 年

代表取締役社長 : 阿部 紘

所在地 : 大阪府大阪市淀川区西中島 4-3-2 類ビル（大阪本社）
: 東京都大田区蒲田 5-38-3 蒲田朝日ビル（東京本社）

事業内容 : 設計事業部 類設計室、教育事業部「類塾プラス」「類学舎」「自然学舎」
「しごと学舎」、農園事業部 類農園、地域共創事業部 類宅配、
営繕事業部の 5 業態を展開しています。

URL : <https://www.rui.ne.jp/>